

# INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>)



## 第18回 塚原伸晃記念賞受賞候補者推薦要領

(平成15年度 寄附行為第4条第2号, 褒賞事業)

財団法人 ブレインサイエンス振興財団

### 1. 趣旨

生命科学の分野において優れた独創的研究を行っている45歳以下の研究者(国内外を問わない)に対して塚原伸晃記念賞を贈呈します。

### 2. 褒賞金

贈呈件数は原則として1件とし、賞牌ならびに副賞(100万円)を贈呈します。

### 3. 推薦締切日

平成15年11月27日(木)とします。

### 4. 推薦者(①又は②のいずれか)

①関係各学会代表責任者または所属機関の長。

②当財団の理事及び評議員。

(当財団の理事及び評議員からの推薦は、1推薦者から1件に限ります。)

### 5. 推薦方法

所定の用紙に必要事項を記入し、当財団に提出してください。

(80円切手1枚を同封のうえ、塚原伸晃記念賞

推薦用紙希望を明記し、封書で財団あて送付いただき次第、お返し推薦用紙を送付します。返信用封筒は不要です。)(推薦用紙は当財団のHPからも取り出せます。URL <http://homepage2.nifty.com/bsf/>)

### 6. 審査方法

当財団の選考委員会において審査選考し、理事会において決定します。

### 7. 審査結果の通知

平成16年3月末日までに推薦者および受賞者あて通知します。

### 8. 賞牌ならびに副賞の贈呈

贈呈決定者に対して別途通知します。

推薦書提出先および連絡先

財団法人 ブレインサイエンス振興財団

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-20

電話 (03) 3273-2565 (直通)



## 第18回 研究助成候補者応募要領

(平成15年度 寄附行為第4条第1号, 研究助成事業)

財団法人 ブレインサイエンス振興財団

### 1. 趣旨

ブレインサイエンスの広い分野における研究に対して助成を行います。逆に、下記の各項について、脳のメカニズムを解明する独創的な研究計画の助成に重点をおきます。研究分野は実験研究

のみならず、理論、モデリング研究をも含みます。

①脳細胞の働き ②脳の感覚、認知、運動、情動、記憶・学習、睡眠、意識の機能 ③脳の制御の原理と機構 ④脳神経系疾患の病理 ⑤脳の老化 ⑥脳神経の発生、分化、発達 ⑦物理学から

脳へのアプローチ

## 2. 研究助成額

助成額は1件100万円、助成件数は8～10件とします。

## 3. 応募締切日

平成15年11月27日（木）とします。

## 4. 応募用紙

80円切手1枚を同封のうえ、研究助成応募用紙希望を明記し、封書で財団事務局まで送付いただき次第、お返し応募用紙を送付します。（返信用封筒は不要です。）

（応募用紙は当財団のHPからも取り出せます。

URL <http://homepage2.nifty.com/bsf/>）

## 5. 応募方法

所定の用紙に必要事項を記入し、当財団に提出してください。

（研究についての問い合わせ可能な所属長名を明記してください。）

## 6. 審査方法

当財団の選考委員会において審査選考し、理事会において決定します。

## 7. 採否の通知

平成16年3月末日までに応募者あて採否を通知します。

## 8. 助成金の交付

平成16年6月末日までに助成決定者の指定口座に振り込みます。

## 9. 助成金の使途

助成金は応募用紙記載の通り使用することを原則とします。なお、経理報告書を平成17年4月末日までに提出してください。

## 10. 成果の報告

平成17年4月末日までに、研究成果報告書を提出してください。また、助成金による研究を専門誌に載せる場合には、「財団法人ブレインサイエンス振興財団（英文＝Brain Science Foundation）の助成による」旨を書き添えてください。

応募用紙提出先および連絡先

財団法人 ブレインサイエンス振興財団

〒104-0028 東京都中央区八重州2-6-20

電話 (03) 3273-2565 (直通)



## 第17回 海外派遣研究助成候補者応募要領

（平成15年度 寄附行為第4条第3号、国際交流事業）

財団法人 ブレインサイエンス振興財団

### 1. 趣旨

我が国におけるブレインサイエンスの研究の促進を図るため、国際学会、シンポジウム等への参加、あるいは短期間（6ヶ月以内）の共同研究のための研究者の海外派遣を助成します。但し、平成16年4月から平成17年3月の間に出発できるものに限りま

### 2. 助成予定額

1件あたりの助成額は往復の航空運賃を主とし、30万円までを限度として必要額を若干件数助成します。

### 3. 応募締切日

平成16年1月16日（金）とします。

### 4. 応募用紙

80円切手1枚を同封のうえ派遣研究助成応募用紙希望を明記し、封書で財団事務局まで送付いただき次第、お返し応募用紙を送付します。（返信用封筒は不要です。）

（応募用紙は当財団のHPからも取り出せます。

URL <http://homepage2.nifty.com/bsf/>）

### 5. 応募方法

所定の用紙に必要事項を記入し、当財団に提出してください。

○学会、シンポジウム等の問い合わせ可能な所属長の名前を明記してください。

○受入先の承諾書を添付してください。

（学会、シンポジウム等参加の場合は参加証明書または招待状の写し。短期の共同研究の場合は

受入機関または共同研究者の手紙の写し。)

#### 6. 審査方法

当財団の選考委員会において審査選考し、理事会において決定します。

#### 7. 採否の通知

平成16年3月末日までに応募者あて採否を通知します。

#### 8. 助成金の交付

平成16年4月以降出発時期に応じて助成決定社の指定口座に振り込みます。

#### 9. 助成金の使途

助成金は応募用紙記載のとおり使用することを原則とします。

#### 10. 成果の報告

帰国後2ヶ月以内に派遣の成果についての報告書を提出してください。

応募用紙提出先および連絡先

財団法人 ブレインサイエンス振興財団

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-20

電話 (03) 3273-2565 (直通)



## 第17回 海外研究者招聘助成候補者推薦要領

(平成15年度 寄附行為第4条第3号 国際交流事業)

財団法人 ブレインサイエンス振興財団

#### 1. 趣旨

ブレインサイエンス研究分野において、独創的テーマに意欲的に取り組んでいる外国人研究者の短期間(3ヶ月以内)の招聘を助成します。

ただし、平成16年4月1日から平成17年3月31日の間に招聘するものとします。

また、助成金は招聘する受入責任者に交付します。

#### 2. 招聘助成予定額

1件あたりの助成額は往復の航空運賃を主とし、30万円までを限度として必要額を若干件数助成します。

#### 3. 推薦締切日

平成16年1月16日(金)とします。

#### 4. 推薦者(①又は②のいずれか)

①関係学会代表責任者または所属機関の長

②当財団の理事及び評議員。

(当財団の理事及び評議員からの推薦は、1推薦者から1件に限ります。)

#### 5. 推薦方法

所定の用紙に必要事項を記入し、当財団に提出してください。

(80円切手1枚を同封のうえ、招聘助成推薦用紙希望を明記し、封書で財団宛送付いただき次第、

おりかえし推薦用紙を送付します。返信用封筒は不要です。)

(又、推薦用紙は当財団HPからも取り出せません。URL <http://homepage2.nifty.com/bsf/>)

#### 6. 審査方法

当財団の選考委員会において審査選考し、理事会において決定します。

#### 7. 採否の通知

平成16年3月末日までに受入責任者および推薦者あて採否を通知します。

#### 8. 助成金の交付

平成16年4月から必要に応じて受入責任者あて指定口座に振り込みます。

#### 9. 助成金の使途

助成金は応募用紙記載のとおり使用することを原則とします。

#### 10. 成果の報告

招聘後2ヶ月以内に受入責任者より招聘の成果報告書を提出してください。

推薦書提出先および連絡先

財団法人 ブレインサイエンス振興財団

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-20

電話 (03) 3273-2565 (直通)



## 第2回大阪北部（彩都）地域知的クラスターシンポジウム

### 「バイオベンチャーと製薬企業とのアライアンス：共存の可能性を探る」

主催 大阪北部（彩都）地域知的クラスター本部

中富 一郎

〔(財)千里ライフサイエンス振興財団内〕

「投資家の立場から見たアライアンスのあり方」

後援（予定）文部科学省・近畿経済産業局・大阪府・（社）関西経済連合会・大阪商工会議所  
大阪医薬品協会・NPO法人近畿バイオインダ  
ストリー振興会議

株式会社バイオフィロンティアパートナーズ

代表取締役社長 大滝 義博

（財）大阪産業振興機構・彩都（国際文化公園  
都市）建設推進協議会

パネルディスカッション

日経BP社先端技術情報センター長

宮田 満（司会）

国際文化公園都市（株）

山之内製薬株式会社創薬研究本部研究推進部

主任研究員 根本 靖久

日時 平成15年11月4日（火）13時～17時

株式会社メディカル・プロテオスコープ

場所 千里ライフサイエンスセンター5階ライ  
フホール

取締役会長 藤田 芳司

大阪府豊中市新千里東町1-4-2

ナノキャリア株式会社代表取締役社長

中富 一郎

連絡先

株式会社バイオフィロンティアパートナーズ

代表取締役社長 大滝 義博

大阪北部（彩都）地域知的クラスター本部

〔(財)千里ライフサイエンス振興財団内〕

皆見（みなみ）、芥子（けし）

大阪府豊中市新千里東町1-4-2

TEL 06-6873-2006 FAX 06-6873-2306

E-mail: cluster-lsf@senri-lc.co.jp

プログラム

基調講演

「ベンチャーと企業との共存の可能性」

日経BP社先端技術情報センター長

宮田 満

一般講演

「企業の立場から見た期待されるベンチャー」

山之内製薬株式会社創薬研究本部研究推進部

主任研究員 根本 靖久

「ベンチャーの立場から見た期待される企業」

株式会社メディカル・プロテオスコープ

取締役会長 藤田 芳司

ナノキャリア株式会社代表取締役社長

定員 400名

参加費 無料

申込方法

氏名、勤務先・学校名、〒住所、電話およびFAX番号を記載の上、郵便、FAX電子メールにて下記宛お申し込み下さい。受付は先着順とし、定員に達し次第打ち切らせていただきますのでご了承下さい。参加証は発行しませんので当日は直接ご来場ください。

申込先

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル8階

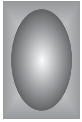
(財)千里ライフサイエンス振興財団内

大阪北部（彩都）地域知的クラスター本部

TEL 06-6873-2006 FAX 06-6873-2306

E-mail: cluster-lsf@senri-lc.co.jp

<http://www/senri-lc.co.jp/slf/>



## 第125回日本医学会シンポジウム「アルツハイマー病」

日時：平成15年12月11日（木）

10：00～17：15

場所：日本医師会館 大講堂

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

TEL 03-3946-2121（代）

午前の部（10：00～11：45）

10：00 開会の挨拶

森 亘（日本医学会長）

10：05 序論

井原 康夫（東京大院・神経病理）

I. 臨床の話題

（座長）金澤 一郎

（国立精神・神経センター）

10：15 1. アルツハイマー病の疫学

浦上 克哉（鳥取大・生体制御）

質疑応答

10：45 2. 脳機能画像の診断的意義

松田 博史

（国立精神・神経センター武蔵病院）

質疑応答

11：15 3. 軽度認知機能障害（Mild cognitive impairment）と痴呆症の早期診断

荒井 啓行（東北大院・老年医学）

質疑応答

11：45 休憩

午後の部（12：45～17：15）

II. 基礎の話題

（座長）井原 康夫（東京大院・神経病理）

12：45 1.  $\gamma$ セクレターゼ：最近の進歩

岩坪 威（東京大院・薬・臨床薬学）

質疑応答

13：15 2.  $A\beta$ 重合のはじまり

柳澤 勝彦

（国立長寿医療研究センター）

質疑応答

13：45 3. 神経原線維変化と痴呆

高島 明彦

（理研・脳科学総合研究センター）

質疑応答

14：15 休憩

III. 治療と介護の進歩

（座長）朝田 隆（筑波大・精神医学）

14：30 1. ドネペジル治療効果の予測

羽生 春夫（東京医大・老年病科）

質疑応答

15：00 2. ワクチン療法 updated

田平 武

（国立長寿医療研究センター）

質疑応答

15：30 3. セクレターゼ阻害剤の開発について

木曾 良明

（京都薬大・創薬科学フロンティア研究センター）

質疑応答

16：00 4. 患者・家族が医師に求めるもの—  
家族の会の活動から—

三宅 貴夫

（（社）呆け老人をかかえる家族の会）

質疑応答

16：30 総合討論

（司会）金澤 一郎（国立精神・神経センター）

井原 康夫（東京大院・神経病理）

朝田 隆（筑波大・精神医学）

17：10 閉会の挨拶

高久 史磨（日本医学会副会長）

17：15 終了